

人工知能×アダプティブ・ラーニング！クラウド型学習システム「すらら」 インドネシア教育大学が「Surala Ninja!」を活用した 算数教室を2月1日に開校

同大学の卒業生や附属小学校教師、教授らがファシリテーター(講師)に

株式会社すららネット(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:湯野川孝彦、以下すららネット)は、インドネシアにて小学生向け算数クラウド型学習システム「Surala Ninja!」の提供、および、運用支援を行っています。この度、インドネシアの有名国立大学であるインドネシア教育大学(英語名:Indonesia University of Education 以下、UPI)が大学構内の施設にて、「Surala Ninja!」を活用したeラーニング算数教室(正式名:Kelas e-Learning Matematika Surala UPI)を2月1日に開校します。

「Surala Ninja!」は、日本人向けのクラウド型学習システム「すらら」をもとに、海外向けに作成された小学生向け算数クラウド型学習システムです。これまでインドネシア語版、シンハラ語版(スリランカ)、英語版(インド)が運用されています。

今回、UPIが「Surala Ninja!」を活用したeラーニング算数教室を開校するに至ったのは、昨年からのJICAのプロジェクトの一環として「Surala Ninja!」のトライアル授業をUPIの附属小学校(Bumi校・Cibiru校)で行なっているなかで、生徒の学力が伸び、生徒の反応が良いことから手応えを感じたためです。加えて、UPIは近隣住民に向けた英語教室を実施しており、従来から地域貢献活動を行っていることも要因のひとつです。今回開校する教室では、英語教室と同様、近隣に住む小学生向けに、「Surala Ninja!」を活用したeラーニング算数教室を開校し、附属校に通っていない地域の子どもの算数の計算力も高めることで地域に貢献することを狙いとしています。

本教室はUPI構内の施設内にて運営します。ファシリテーター(講師)として、現在、附属小学校で「Surala Ninja!」のトライアル授業を担当している教師や授業のサポートをしているUPIの数学科教授のほか、同大学・大学院の小学校教員学部や数学学科出身のスタッフが参加します。

また、開校に先立ち、保護者を対象とした開校説明会を近隣の複数の小学校にて実施したところ、ある公立小学校では約200名もの保護者が参加し、保護者の関心の高さがうかがえました。また、すらら授業体験会も開催し、ファシリテーターの指導を受けながら集中して勉強する子どもの様子に保護者の評判も良く、開校時の目標生徒数が60名であるのに対し、1月26日時点で、既に目標を大幅に超える100名以上の申し込みがありました。

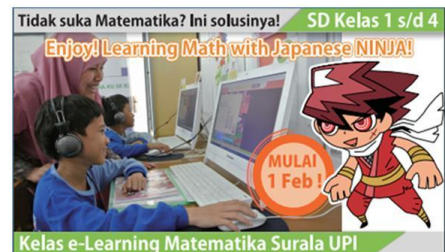
【eラーニング算数教室の概要】

正式名称:Kelas e-Learning Matematika Surala UPI

(ケラス イーラーニング マテマティカ スララ ウピ)

対象:小学1年生~4年生

授業スケジュール:月曜日~木曜日 1日5コマ *週4日運営/授業1コマ:60分



▲学習塾のチラシ(一部)



▲体験会の様子

すららネットでは今後も「教育に変革を、子どもたちに生きる力を」という理念のもと、国内のみではなく、世界に向け、品質の良い教育を低価格で提供することで社会の問題を解決していきたいと考えています。

■クラウド型学習システム「すらら」とは

【学習範囲】 小学校高学年～高校3年生までの学習指導要領に準拠

【対応教科】 英語・数学（算数）・国語

【利用者数】 約 34,000 名（2016 年 6 月末現在）

【特徴】

○Point 1 スモールステップでわかりやすいインタラクティブ授業

1つの単元は10から15分程度で、小さな階段を少しずつ上るような構成。

しかも授業は一方的ではなく、随所で先生役のキャラクターが問いかけを行い、問題に答えていくというインタラクティブスタイル。そのため、飽きることなく、適度な緊張感を持続し、楽しみながら学習を進めていくことが可能。

○Point 2 難易度調整や弱点診断ができる演習ドリル

一人ひとりの理解度に応じて出題される問題の難易度を調整する「出題難易度コントロールシステム」を搭載。「簡単すぎず難しすぎない」問題が出題されることで、達成感を感じ自信を深めながら、学習を進めることが可能に。また、何がわからないから問題が解けないのか理由を探る「弱点自動判別システム」も搭載。

○Point 3 現役の塾の先生による手厚いフォロー

いつまでにどこまでの学習をするかといった「月1回の目標設定」や、つまづいているところがないか「週1回程度の電話やメールでの進捗確認」など、継続して取り組めるよう現役塾講師がフォロー。また、クラウド型学習だからこそ、学習内容や正答率・解く速さなども詳細に把握できるので、お子様一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導が可能。

<参考>これまでのeラーニング教材の大半は以下の3パターン

1. 動画配信型：カリスマ講師のレクチャービデオを視聴するタイプ
「理解」にはすぐれているが「反復」の部分がないためやりっぱなしになってしまい、実力が身につかない傾向がある。また、一方的な説明となるため、比較的意識の高いお子様でないと、集中力が続かない。
2. 問題集型：問題集の結果をパソコンに打ち出して結果分析をするタイプ
「定着」にすぐれているが「理解」の部分がないため、学力の高い生徒でないと一人で学習を進めることが困難な傾向がある。
3. ゲーム型：携帯用ゲーム機などを使って学習するタイプ
非常に楽しく学習できるが、単語など反復による暗記系が中心で、体系的な学習には不向き。

「すらら」はこうしたそれぞれの短所を補い、長所を相乗効果的に組合せた、理想の"次世代型教育システム"です。



■「すらら」の“アダプティブ・ラーニング”機能

生徒の解答結果から独自のアルゴリズムにより苦手部分を分析・特定し、生徒それぞれに最適化した学習すべき解説や問題を自動で提示する機能。学習者が苦手分野を自分で克服できるようにする。

■「すらら」における“人工知能”

AIが生徒の学習データに基づき先生の替わりに生徒と対話を行う機能「AIサポーター」を搭載し、生徒のモチベーションに与える効果について慶応義塾大学 中室牧子研究室と共同研究を実施中。

■ 株式会社すらら ネット 会社概要

- 設立：2008年8月 ○ 資本金：13,795万円 ○ 所在地：東京都千代田区内神田
- 事業内容：クラウド型学習システムによる教育サービスの提供および運用コンサルティング、マーケティングプロモーション及びホームページの運営
- 会社URL：<http://surala.jp/>
- 受賞歴：
 - ・第9回日本e-Learning大賞 文部科学大臣賞(2012年)
 - ・Japan Venture Awards 2014 中小機構理事長賞(2014年)
 - ・第2回「日本ベンチャー大賞」社会課題解決賞(審査委員会特別賞)(2016年)
 - ・第8回「千代田ビジネス大賞」大賞(2016年)

